

これからの地域医療の課題 (2040年問題)

- 2040年，団塊ジュニア世代（1971年～1974年生まれ）が65歳以上
我が国は，世界最高水準の高寿命国
高齢者人口は益々増加

⇒高齢者の医療（特に高齢者救急医療）ニーズが増加

- 総人口は減少，特に生産年齢人口の急激な減少

⇒医療資源は増やせない

りんくう総合医療センターの使命

泉州南部地域唯一の高度急性期病院として

■地域のニーズに応える高度専門医療の提供
循環器疾患，脳卒中，がん診療

■泉州地域における政策医療体制の充実
三次救急，災害医療，周産期医療，感染症医療

高齢者の救急医療ニーズに対応するためには

■機能分担と提携による地域完結医療体制の構築

■地域医療連携推進法人

■必要に応じて、迅速な病院間転送

- 高度な専門診療が必要 ⇒りんくう総合医療センター
- 一般的な入院診療が必要 ⇒りんくう以外の二次救急病院

泉州南メディカルネットワークの設立趣旨とは

泉州二次医療圏南部（泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）にお住まいの方が、**住み慣れたこの地域で安心して、必要な医療・介護・生活支援を受けられる体制を構築すること**が当法人の最終目的です。

➡泉州南部地域の地域包括ケアシステムの構築

直近の課題

2040年に向けて、直ちに取り組むべき課題

➡**増え続ける高齢者の医療、特に高齢者救急への対応**
限られた資源を有効に活用し、関係機関が協働することで、
増加する医療需要に対応していくことが求められています。
その中心的役割を一体となった地域医療連携推進法人が担っていきます。

『提携』の意味・・・何が実現できるか？

- ▶ **三市三町における救命・救急患者の完全な受入体制の確立**
- ▶ **診療機能の分担と連携強化の推進**
 - ⇒ 一人一人に適した医療提供，スムーズな転退院の実現
- ▶ **人事交流による効率的な人的資源の活用**
- ▶ **医療情報の共有による迅速で適切な医療提供の継続**
- ▶ **大規模災害や新興感染症の発生時における医療提供体制の構築**

法人の構成

参加法人・・・圏域内の一般病床を有する、救急告示 病院で提携（アライアンス）を開始する

- ▶ 地方独立行政法人りんくう総合医療センター
- ▶ 社会医療法人三和会（永山病院）
- ▶ 社会医療法人栄公会（佐野記念病院）
- ▶ 医療法人功德会泉南（泉南大阪晴愛病院）
- ▶ 医療法人晴心会（野上病院）
- ▶ 阪南市（阪南市民病院）

構成病院が有する機能

医療機関名	病床種別	介護施設・事業所等	関連医療施設
りんくう総合医療センター	【高度急性期】【急性期】 (救命センター・感染症センター)		
永山病院	【急性期】【回復期】【慢性期】	【老健】	りんくう永山病院 永山クリニック
佐野記念病院	【急性期】【回復期】	【老健】【サ高住】【訪看ST】 【ヘルパーST】【通所リハ】 【デイサービス】	
泉南大阪晴愛病院	【急性期】	【老健】【グループホーム】	大阪晴愛病院
野上病院	【急性期】【回復期】【慢性期】	【サ高住】【訪看ST】	のがみ泉州リハビリテー ションクリニック
阪南市民病院	【高度急性期】【急性期】【回復期】	【老健】【サ高住】【訪看ST】 【ヘルパーST】【通所リハ】 【デイサービス】等	社会医療法人生長会 関連病院

※【老健】介護老人保健施設、【サ高住】サービス付高齢者住宅、【訪看ST】訪問看護ステーション、
【ヘルパーST】訪問介護ヘルパーステーション、【通所リハ】通所リハビリテーション、【デイサービス】通所介護デイサービスセンター

今後の構想

- まずは救急体制の構築を目指すため、6法人で立ち上げた
 - 圏域内の6法人以外の病院にも参加を呼びかけていく
 - 介護領域の事業所等の連携にも取り組んでいく
 - 各種団体（3師会等）や行政機関（市町・保健所）とのアライアンス
- ★「命輝く未来社会」に向けて、
- ★圏域内の医療・介護連携の推進、
- ★地域共生社会において、地域振興に寄与していく